

福山市

2017年度 第1号



青少年センターだより

青少年センター
 広島県福山市東桜町3番5号
 (福山市役所青少年課内)
 TEL 084-928-1046
 FAX 084-928-1229
 E-mail seisyounen@city.fukuyama.hiroshima.jp

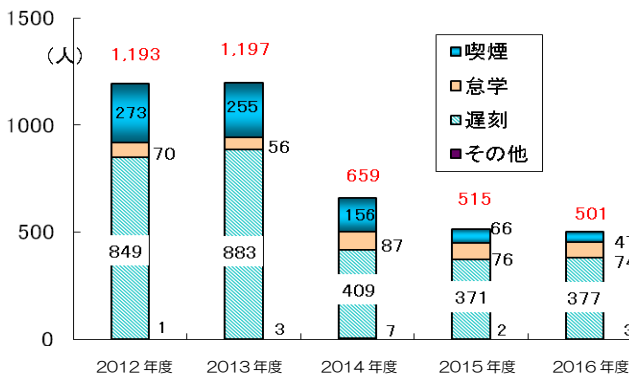
青少年センター 2016年度補導状況

福山市青少年センターでは、福山駅周辺や市内の各学校周辺、公園、ゲームセンターなど、子どもたちが集まりそうな場所へ出向き、声かけ(補導活動)を行っています。「遅刻かな?」「たばこ吸っているな」と思ったら、まずは声かけからはじまります。子どもたちの問題行為の背景にある不満や辛い思いを解消するため、子どもたちの心に寄り添う対応で、一緒に悩みを分かち合いながら、問題行為の原因解決に携わっていきます。

～問題行為少年の月別補導状況～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
2016年度	47	29	47	29	12	61	57	99	48	46	18	8	501
喫煙	5	4	3	3	3	3	14	4	4	2	—	2	47
怠学	9	4	16	3	1	10	8	2	4	6	9	2	74
遅刻	32	21	28	23	8	48	35	93	38	38	9	4	377
飲酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
家出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
再登校指導ほか	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	3

～問題行為少年の年度別補導状況～



2016年度は合計501人の子どもたちを補導しました。その中で最も多い問題行為は「遅刻」です。場所は福山駅周辺が多い状況にあります。また、2学期となる9～11月の補導件数が多いことが分かります。

補導件数は減少傾向にありますが、SNS利用に係るトラブルや犯罪など不安材料は多く、声かけ・補導活動がますます重要であるといえます。子どもたちが楽しく学校に行けるよう、気持ちを汲み取って、しっかりサポートしていきます。

7月は非行・被害防止強調月間

2017年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」並びに第67回「社会を明るくする運動」街頭啓発活動

[日時] 7月1日(土) 14:00～15:00
 [場所] ポートプラザ日化 ポートモール
 [内容] 花園保育園 園児による和太鼓演技
 市民へ啓発チラシ等を配布



第67回「社会を明るくする運動」モデル事業福山地区大会

第52回福山市青少年育成市民運動推進大会

[日時] 2017年(平成29年) 7月15日(土) 13:00～

[場所] 広島県民文化センターふくやま ホール

[内容] オープニング行事

「ミラクルサクソフォン カルテット」

山下雅也・西川祐太・増田結子・平井千香子

「社会を明るくする運動」作文朗読

記念講演

講師 コレワーク西日本(大阪矯正管区矯正就労支援情報センター室)

矯正専門職 都坂 圭吾さん

演題 「就労を通じた再犯防止」—コレワークの活動から—



指導員の窓

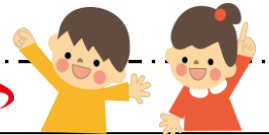


4月から福山市青少年センターの指導員としてお世話になっています。3月までは中学校に勤務してましたので、今まで中学生以外の、全く知らない高校生等に声かけをすることはほとんどありませんでした。従って、最初は、どういうタイミングで、どんな声かけをしたらいいのかわからず、先輩の指導員についていだけで精一杯でした。福山駅で登校時間に遅れているような高校生に声かけをすると、中には、びっくりして緊張し、顔が強張る生徒がいたり、逆に無視して知らん顔で素通りしようとする生徒もいました。捕まえて厳しく指導しようとしているのではなく、声かけをすることで少しでも子どもたちの学校生活を有意義なものに近づける手助けをしていくつもりなのですが、中々そんな気持ちは伝わらないことが多い毎日です。

私たち指導員は、午前中は福山駅周辺、午後は、大型商業施設や娯楽施設、スクールサポーターが配置されている中学校の周辺を巡回しています。4月の補導件数は、昨年度が47件に対し、今年度は38件です。行為別では、喫煙が7件、怠学が5件、遅刻が26件で、昨年度より遅刻件数が少し減っているようです。

今までの教職経験で学んだことを元に、このような行為を現象面だけで捉えてその子どもを見るのではなく、背景にあるしんどい思いや辛いことがこういった行為につながっているという考え方を大切にしていきたいと思います。

『補導とは、子どもたちにただ声かけをすることではなく、声かけによって子どもたちの健やかな成長のために、補い導くものである』という、先輩指導員からの教を信条としてこれからも頑張っていきたいと思っています。（宇田）



中央青少年育成員のコーナー



企画運営推進会において、中央青少年育成員（総称：中育員）の活動を皆様に幅広く知っていただきたいとの目的で、今年度より“青少年センターだより”の一角を育成員が担当することになりました。よろしくお願い致します。

昨年度までの中育員の活動は補導を中心としてまいりました。昨今、補導件数は年々減少してきているため、様々な課題のある子どもたちへの居場所づくりなど、青少年の情勢にあわせた新たな課題の解決に向け、活動の場を広げてまいります。

今年度、まず2つの“研修”を行いましたので報告致します。

1. “発達障がい”の正しい理解と接し方について

最近よく耳にしますが、正しく理解することが必要ということで、フォロー・支援について、社会福祉協議会（クローバー）永井智樹先生を講師に研修しました。“指示”“命令”“禁止”は禁句であり、声かけの大切さを学びました。

2. 立ち直り支援（子どもへの接し方）について

福山市・福山市教育委員会・警察と連携し、子どもたちの健全育成に係る業務を行っている少年サポートセンターふくやま（RiMふくやま 地下2階）で行われた研修会に参加しました。子どもの立ち直り支援として、居場所づくりや学習支援の大切さ、又、子どもへの接し方について学びました。

以上、2つの研修を終え、今後も育成員として研鑽を積んで青少年の健全育成に貢献していきたいと思っています。（吉岡）

編集後記



新採用で青少年課に配属され、2か月が経ちました。新しい環境にも慣れ始めましたが、まだまだ分からないことが多く、勉強の日々です。青少年課で働くようになり、子どもたちが伸び伸びと元気に暮らせる環境をずっと守っていききたい、と感じる気持ちが強くなりました。これから精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。（松本）